

平成30年11月30日  
愛媛大学

## 「愛媛大学南予水産研究センター設立 10 周年記念式典」 の開催について

愛媛大学 社会連携推進機構 南予水産研究センターは、このたび「愛媛大学南予水産研究センター設立 10 周年記念式典」を下記のとおり開催します。

本センターは、平成 20 年度に設立されて以降、南予地域の活性化を目的として海面養殖を初めとする水産業における新技術の開発、新魚種の育種などの研究を行うとともに、学部、大学院の学生を受け入れて、人材の育成にも貢献してきました。

この度、本年 4 月で設立 10 年を迎えたこともあり、これを、ステークホルダーの皆様方とともに祝うとともに、これまでの実績を再評価し、今後の研究、人材育成の進展に新たな決意をするために、記念式典を開催することとしました。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時 : 平成 30 年 12 月 3 日 (月)

記念式典 15:00~17:15 ※詳細は添付資料をご参照ください

【内容】・記念講演「水産養殖の持続可能性と成長産業化 -課題と目指す方向-」  
・主要プロジェクト紹介 (新養殖種に関する研究) 等

祝賀会 17:30~19:00

場 所 : ホテルサンパール (愛南町御荘平城 681)

対 象 : 水産関係団体関係者、自治体関係者、教育研究関係者等

駐 車 場 : 有り

※送付資料 1 枚 (本紙のみ)

本件に関する問い合わせ先  
担当部署 : 南予水産研究センター  
担当者名 : 神野、橋岡、高橋  
TEL : 0895-82-1022  
Mail : suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

# 愛媛大学南予水産研究センター 設立10周年記念行事

## プログラム





# 南予水産研究センター設立10周年記念式典

開会挨拶		15:00～15:15
	愛媛大学長	大橋 裕一
	愛南町長	清水 雅文
来賓祝辞		15:15～15:30
	愛媛県知事	中村 時広 様
	水産庁増殖推進部参事官	藤井 徹生 様
	宇和島市長	岡原 文彰 様
記念講演		15:30～16:15
水産養殖の持続可能性と成長産業化 - 課題と目指す方向 -		
	国立研究開発法人水産研究・教育機構理事	伊藤 文成 様
南予水産研究センター紹介		16:15～17:15
南予水産研究センターの概要	南予水産研究センター長	武岡 英隆
主要プロジェクト紹介	南予水産研究センター准教授	後藤 理恵
	南予水産研究センター准教授	清水 園子
センターメンバー紹介	南予水産研究センター長	武岡 英隆

# 南予水産研究センター設立10周年記念祝賀会 17:30～19:00

開会挨拶		
	愛媛大学理事	仁科 弘重
来賓祝辞		
	愛媛県漁業協同組合連合会代表理事会長	平井 義則 様
乾杯		
	愛南漁業協同組合代表理事組合長	立花 弘樹 様
御歓談		
中締め		
	久良漁業協同組合代表理事組合長	竹田 英則 様

## 【記念講演講師 伊藤文成様 御略歴】

- 1986年 農林水産省採用 水産庁東海区水産研究所研究員
- 2001年 (独)水産総合研究センター養殖研究所室長
- 2005年 福井県水産試験場長
- 2007年 (独)水産総合研究センター中央水産研究所センター長
- 2009年 (独)水産総合研究センター養殖研究所部長
- 2013年 (独)水産総合研究センター日本海区水産研究所長
- 2014年 (国研)水産研究・教育機構理事(研究開発担当)

## 【講演要旨】

世界の水産養殖業は目覚ましい拡大を続けている優良な成長産業であり、天然資源の枯渇が懸念される中で食糧確保の切り札ともみなされている。一方で、日本の養殖業は世界の状況に反して元気がなく伸び悩んでいるが、世界規模での食料供給や日本の食料安全保障、さらには地域振興を考えると養殖業への期待は非常に大きい。

日本において将来にわたり養殖業の持続可能な発展を実現するためには、環境、経済、及び地域との関係の3つの側面を考慮する必要がある。それぞれ、養殖業の実行による環境や生態系への影響の軽減、経済的な自立性の確保、法令遵守や地域貢献などが課題となる。また、地球規模での気候変動や国際的な需給動向、AIの活用など科学技術イノベーションの動向等今日的な課題も踏まえ、養殖業の持続的発展を支える研究・技術開発の方向を考える必要がある。

本日の講演では日本の養殖業の課題を整理し、養殖業の持続可能性と成長産業化を目指した水産研究・教育機構の取り組み状況を紹介する。

